

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 中国財務局長

**【提出日】** 平成25年2月14日

**【四半期会計期間】** 第62期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

**【会社名】** 福留八ム株式会社

**【英訳名】** FUKUTOME MEAT PACKERS, LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 中島修治

**【本店の所在の場所】** 広島市西区草津港二丁目6番75号

**【電話番号】** 082(278)6161(代表)

**【事務連絡者氏名】** 総務経理支援部長 中山哲志

**【最寄りの連絡場所】** 広島市西区草津港二丁目6番75号

**【電話番号】** 082(278)6161(代表)

**【事務連絡者氏名】** 総務経理支援部長 中山哲志

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第61期	第62期	第61期
		第3四半期 連結累計期間	第3四半期 連結累計期間	第61期
		自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高	(千円)	22,541,698	21,585,441	28,747,716
経常利益	(千円)	569,217	393,885	509,118
四半期(当期)純利益	(千円)	249,669	178,731	219,807
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	311,121	220,832	355,694
純資産額	(千円)	4,733,102	4,948,103	4,777,675
総資産額	(千円)	18,708,801	18,461,709	17,552,478
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	14.95	10.70	13.16
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	25.3	26.8	27.2

回次	会計期間	第61期	第62期
		第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間
		自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	4.83	11.04

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、前事業年度における有価証券報告書「第2 事業の状況4 . 事業等のリスク」に記載の事項から重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～12月31日）におけるわが国経済は、復興需要を背景に緩やかな回復傾向にあるものの、長期化する円高や欧州債務危機に伴う海外経済の減速、中国をはじめ新興国経済の減速など世界経済の落ち込みは根強く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、包装資材及び燃料の高騰による製造コストの上昇及び消費者の節約志向や市場競争激化による加工食品価格の下落が続くなど、依然として厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、経営理念のさらなる浸透を図るとともに、コンプライアンスを重視した社員教育を実施してまいりました。また、生産革新に基づく「ローコスト・オペレーション」に注力し、コスト削減に努めてまいりました。

販売に関しましては、当社のオンリーワン商品である「花ソーセージ」や「ロマンティック街道」シリーズ、新商品「ポークポロナスターキ」などの販売促進を図るため、「秋のわくわくキャンペーン」や「花ソーセージにまつわる懸賞作文募集」を行い、拡販に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、215億85百万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。利益につきましては、営業利益は3億71百万円（前年同四半期比35.5%減）、経常利益は3億93百万円（前年同四半期比30.8%減）、四半期純利益は1億78百万円（前年同四半期比28.4%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 加工食品事業

加工食品事業につきましては、当社ソーセージの主力である「花ソーセージ」は微増で推移し、新商品の「ポークポロナスターキ」などを投入しましたが、包装資材及び燃料の高騰による製造コストの上昇及び消費者の節約志向や市場競争激化に伴う販売価格の下落等もあり、全体の落ち込みをカバーするまでにはいたりませんでした。

その結果、売上高は100億54百万円（前年同四半期比6.3%減）、セグメント利益（営業利益）は4億58百万円（前年同四半期比34.4%減）となりました。

## 食肉事業

食肉事業につきましては、国内地産ブランドを活かした拡販に努めてまいりましたが、国産豚においては、供給量の増加から、相場が低調に推移したため、売上高は微減となりました。一方、国産牛においては、昨年の消費低迷より回復基調となり、売上高、数量とも増加しました。輸入ミートにおいては、売上高、数量ともに前年を下回って推移いたしました。

その結果、売上高は115億30百万円（前年同四半期比2.4%減）、セグメント利益（営業利益）は2億47百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。

### (2) 財政状態の分析

#### （資産の部）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ9億9百万円増加の184億61百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ10億49百万円増加の91億48百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金8億82百万円と原材料及び貯蔵品1億14百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億39百万円減少の93億13百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の評価替等41百万円及び保険積立金12百万円の増加と有形固定資産の減価償却実施額等1億90百万円の減少によるものであります。

#### （負債の部）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億38百万円の増加の135億13百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ6億49百万円増加の100億30百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金7億23百万円の増加と短期借入金1億93百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ89百万円増加の34億82百万円となりました。主な要因は、退職給付引当金94百万円の増加によるものであります。

#### （純資産の部）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億70百万円増加の49億48百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加1億28百万円とその他有価証券評価差額金42百万円の増加によるものであります。

### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1億33百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間における研究開発活動の状況に重要な変更等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	68,000,000
計	68,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	17,000,000	17,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株 であります。
計	17,000,000	17,000,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年12月31日		17,000,000		2,691,370		1,503,937

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式297,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,591,000	16,591	
単元未満株式	普通株式 112,000		
発行済株式総数	17,000,000		
総株主の議決権		16,591	

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 福留ハム株式会社	広島市西区草津港二丁目 6番75号	297,000		297,000	1.75
計		297,000		297,000	1.75

(注) 株主名簿上は、当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000(議決権1個)あります。  
 なお、当該株式数は上記 [発行済株式] の「完全議決権株式(その他)」の欄に含めております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,405,613	3,484,363
受取手形及び売掛金	3,371,216	4,253,820
商品及び製品	870,707	895,909
仕掛品	50,135	40,995
原材料及び貯蔵品	281,750	396,558
繰延税金資産	95,747	54,877
その他	27,006	33,412
貸倒引当金	3,009	11,699
流動資産合計	8,099,166	9,148,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,385,409	2,277,595
機械装置及び運搬具（純額）	374,395	353,360
土地	3,350,427	3,347,087
リース資産（純額）	366,141	310,668
その他	31,495	28,213
有形固定資産合計	6,507,869	6,316,925
無形固定資産		
電話加入権	21,201	21,201
その他	1,832	3,774
無形固定資産合計	23,033	24,975
投資その他の資産		
投資有価証券	1,667,764	1,709,429
出資金	85,517	85,517
敷金及び保証金	133,259	132,770
保険積立金	21,107	34,081
繰延税金資産	948,659	955,658
その他	251,441	250,449
貸倒引当金	185,341	196,337
投資その他の資産合計	2,922,408	2,971,570
固定資産合計	9,453,311	9,313,471
資産合計	17,552,478	18,461,709

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,559,963	3,283,944
短期借入金	5,853,600	5,660,000
未払金	483,486	584,071
未払費用	89,742	94,879
未払法人税等	34,581	94,762
賞与引当金	214,546	107,635
リース債務	103,515	106,514
その他	42,240	99,126
流動負債合計	9,381,676	10,030,934
固定負債		
長期借入金	966,500	1,008,100
退職給付引当金	1,889,308	1,983,382
役員退職慰労引当金	228,731	240,881
リース債務	268,399	209,975
その他	40,186	40,331
固定負債合計	3,393,126	3,482,670
負債合計	12,774,802	13,513,605
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691,370	2,691,370
資本剰余金	1,503,937	1,503,937
利益剰余金	467,855	596,479
自己株式	74,034	74,330
株主資本合計	4,589,129	4,717,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187,564	229,662
その他の包括利益累計額合計	187,564	229,662
少数株主持分	982	984
純資産合計	4,777,675	4,948,103
負債純資産合計	17,552,478	18,461,709

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	22,541,698	21,585,441
売上原価	18,103,898	17,442,352
売上総利益	4,437,800	4,143,089
販売費及び一般管理費	3,862,507	3,771,931
営業利益	575,293	371,157
営業外収益		
受取利息及び配当金	21,889	27,364
不動産賃貸料	44,730	44,730
その他	23,052	33,618
営業外収益合計	89,671	105,713
営業外費用		
支払利息	89,397	81,595
その他	6,350	1,390
営業外費用合計	95,747	82,985
経常利益	569,217	393,885
特別利益		
固定資産売却益	4,880	30
投資有価証券売却益	2,304	1,061
収用補償金	38,570	-
特別利益合計	45,755	1,091
特別損失		
投資有価証券評価損	214	24,146
固定資産除却損	20,930	5
減損損失	-	3,340
特別損失合計	21,144	27,492
税金等調整前四半期純利益	593,828	367,483
法人税、住民税及び事業税	247,873	180,265
法人税等調整額	96,285	8,484
法人税等合計	344,158	188,749
少数株主損益調整前四半期純利益	249,669	178,733
少数株主利益	0	1
四半期純利益	249,669	178,731

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	249,669	178,733
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	61,451	42,098
その他の包括利益合計	61,451	42,098
四半期包括利益	311,121	220,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	311,121	220,830
少数株主に係る四半期包括利益	0	1

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	7,094千円	6,202千円
支払手形	千円	5,060千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	342,709千円	309,611千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月13日 取締役会	普通株式	50,110	3	平成23年3月31日	平成23年6月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月14日 取締役会	普通株式	50,108	3	平成24年3月31日	平成24年6月8日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,727,518	11,814,179	22,541,698
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	10,727,518	11,814,179	22,541,698
セグメント利益	698,308	228,550	926,858

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	926,858
全社費用(注)	351,564
四半期連結損益計算書の営業利益	575,293

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,054,655	11,530,786	21,585,441
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	10,054,655	11,530,786	21,585,441
セグメント利益	458,384	247,121	705,505

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	705,505
全社費用(注)	334,347
四半期連結損益計算書の営業利益	371,157

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	加工食品事業	食肉事業	計		
減損損失				3,340	3,340

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	14.95	10.70
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	249,669	178,731
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	249,669	178,731
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,703	16,702

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 2月12日

福留八ム株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 近藤 敏博

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中原 晃生

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている福留八ム株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、福留八ム株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。